

日本インプラント臨床研究会 創立35周年記念大会

- 第4回全員発表研究会
- 創立35周年祝賀パーティー
- 第24回アジア口腔インプラント学会(AOIA)

日時：2009年7月25日(土)・26日(日)
場所：東京ミッドタウン カンファレンス
リッツカールトン東京

田中 栄次 (京都府)



平成20年7月25日(土)、26日(日)の両日第4回全員発表研修会が開催されました。今年は例年になく遅い梅雨明けとなりましたが、幸いにも2日共天候に恵まれました。

初日はミッドタウン カンファレンス、2日目はリッツカールトン東京と会場を変え2日間で108に及ぶ演題がありました。今回は海外からの特別講演や、第24回アジア口腔インプラント学会も同時開催されました。

例年通りの発表時間、質問時間でしたので、初日は12時間にわたっての過密なスケジュールでありましたが、何らトラブルもなく発表会は、タイムスケジュール通りスムーズに進められていきました。

今年も例年に変わらず、多岐にわたる分野に色々な方向からのアプローチが発表されました。再生療法においては、新たな手法や長期的予後経過、サイナスリフトでは、術後のトラブル時の対応策なども聞くことができ、大変有意義な時を過ごせました。





特別講演ではイタリアのDr. Marco Degidi に「immediate loading:so often the perfect Solution」と題してイミディエートローディングについて講演して頂きました。3 times iとして immediate extraction, immediate implantation, immediate restorationに分けそれぞれ豊富な経験に基づいた臨床例をもとに外科的ガイドライン、補綴学的ガイドラインについてポイントを指摘して頂き、イミディエートローディングを成功に導く鍵についてご教授賜りました。

①4壁が全て残存している ②extraction時外傷を残さない ③初期固定が得られている事が重要で、十分に唇側骨を残して埋入トルク25N以上、ISQ値60以上で埋入、上部構造は微小な動きも避ける為、口腔内でメルティングされ、何度も作り直さないと説明されていました。

ただ患者のニーズ・快適性から安易に即時埋入・即時負荷を行うと大きなトラブルに繋が

る事もあり、確実な指標のもと、適切な診断を行い慎重に症例を選択する必要があると思われま

す。講評として、真田先生よりより美しく、見やすいプレゼンテーションにする為に必要な口腔内写真におけるコントラストなどを指導して頂きました。

インプラントづくりの2日間でしたが、学ぶ事がたくさんあり、モチベーションの活性化も図れ明日からの臨床にいかしていきたいと思

います。最後に全員発表会・学会を運営して下さいました先生方に厚く御礼申し上げます。



